

融合発展促進研究プロジェクトの公募について

自然科学研究機構では自然科学の新たな展開を目指して新しい学問分野の創出とその発展を図ることをミッションとしており、平成 30 年度に発足予定の次世代生命科学センター（仮称）で推進する新たな生命科学研究領域の探索のために、以下の 2 つの研究プロジェクトを推進する挑戦的な研究課題を公募いたします。

1. 挑戦的理工学・生命科学融合研究プロジェクト
2. 挑戦的情報科学・生命科学融合研究プロジェクト

1) 研究内容詳細：別紙参照

2) 応募課題：生命の理解を深化させるために、これまでの生命科学研究に対してブレークスルーをもたらすような革新的な研究技術や新たな概念の構築に挑戦する研究課題を募集する。

3) 応募研究組織：各研究課題は研究代表者と、共同研究者または連携研究者で構成する組織で推進すること。各研究者の担当内容を具体的に記載すること。挑戦的理工学・生命科学融合研究プロジェクトにおいては理工学のチームと生命科学のチーム、挑戦的情報科学・生命科学融合研究プロジェクトにおいては、情報科学のチームと生命科学のチームで構成されることが望ましい。

4) 採択件数：各研究プロジェクト 3-5 件程度

5) 研究期間：平成 28 年 10 月 1 日（予定）～平成 30 年 3 月 31 日の 2 年度（平成 28 年度、29 年度）。

6) 研究経費：単年度あたり 300 万円、全期間で 600 万円を上限とする。ただし、それ以上の経費が必要な場合は年度ごとに必要経費と理由を明記すること。

7) 応募締切：平成 28 年 8 月 31 日（水）

8) 応募方法：研究代表者が、共同研究者、連携研究者の承諾を得たうえで、別紙様式『自然科学研究機構「融合発展促進研究プロジェクト」研究課題申請書』（総頁数は 8 頁以内）を作成し、期限内に提出先に提出すること。

9) 審査方法：自然科学研究機構に設置した次世代生命科学センター（仮称）設置準備委員会の下に置かれた運営ワーキンググループ*において審査し、次世代生命科学センター（仮称）設置準備委員会において決定します。必要に応じて、研究代表者からヒアリングを行うこともあります。

10) 実績報告：年度ごとに実績報告を提出していただきます。

11) 評価：提出いただいた実績報告に基づき、運営ワーキンググループにおいて中間評価及び最終評価を行います。なお、中間評価の結果によっては、2 年目の経費の増減、打ち切りもありえます。

12) 照会先・提出先：事務局企画連携課研究支援係（新分野創成センター事務担当）

E-mail : [cnsi-jimu\[at\]nins.jp](mailto:cnsi-jimu[at]nins.jp)

※運営ワーキンググループ：研究プロジェクトごとに運営ワーキンググループを設置して、研究総括及びアドバイザーを置き、研究課題の公募・審査・採択及び評価を行うとともに、採択した個々の研究課題、プロジェクト内およびプロジェクト間の研究推進のための調整を行います。

1. 挑戦的理工学・生命科学融合研究プロジェクト

(研究総括：岡崎統合バイオサイエンスセンター 教授 加藤晃一)

これまで生命科学のブレークスルーは、それまで生命科学に応用されていなかった計測・操作等技術の応用・開発によってもたらされてきた。本プロジェクトでは、理工学・化学用に開発された機器・技術を生命科学に大胆に応用するとともに、将来の生命科学への適用に向けた技術改良の方策を具体化する挑戦的・萌芽的な課題を募集する。

2. 挑戦的情報科学・生命科学融合研究プロジェクト

(研究総括：基礎生物学研究所 教授 藤森俊彦)

生命科学研究における計測・観察技術の向上や計算科学研究における巨大生体シミュレーションの実現によって、多元的、高精度の膨大なデータが得られるようになっている。生命の本質を理解するには、これらの膨大なデータから生き物らしさを特徴づける情報を読み出すことが必須であり、それには新たな手法によるデータ処理、解析方法の導入が鍵となる。本プロジェクトでは、この情報の読み出しに関して、情報科学、数学、計算科学などを専門とする研究者が生命科学研究者と共同して推進する挑戦的・萌芽的な課題を募集する。